

学校評価報告書

学校名 深谷市立幡羅中学校
校長名 大澤 誠 一 印

1 学校評価のねらい (学校としての受け止め)

- ・本校で実施している P(計画)-D(実施)-C(評価)-A(改善) サイクルに沿って、学校教育目標達成に向けて、適切な学校運営や教育活動を推進する。そのためには、職員の自己評価並びにその他の多面的な評価が必要である。数種の評価を分析し、成果と課題を見だし、次年度につなげる。

2 評価の方法 (自己評価・学校関係者評価・第三者評価の別、回数、方法等)

- ・学校評価 (職員) 2 回
- ・学校評価 (生徒・保護者) 2 回
- ・学校関係者評価 (学校運営協議会委員による評価) 1 回

3 評価の結果

(1) 主な指標の変化 * 第1回評価→第2回評価

①生徒評価

- ・「幡羅中には、生徒が主役になって活動し、感動できる教育活動がある」が、96.6%から97.8%になった。

②保護者評価

- ・「教職員は、優しさと厳しさを持ち、熱心に生徒を指導している」が、95.2%から96.9%になった。
- ・「教職員は、生徒のことをよく理解し、親身になって相談に乗ってくれる」が、92.6%から90.6%になった。

(2) 学校教育目標の具現化に向けた指標

平成29・30年度の学校研究課題「自ら学び、確かな学力の定着を図る指導法の研究」

①職員評価

- ・「学校教育目標の具現化」が、87%から100%になった。

②生徒評価

- ・「部活動では顧問の指導のもと、心を磨き、体を鍛えることができている」が、97.3%から97.3%と高く推移している。

③保護者評価

- ・「子供は、家庭や地域でも挨拶をしている」が、88.9%から93.8%に、
- 「子供は、交通マナーやルールを守っている」が、92.1%から98.4%になった。

(3) 学校研究課題の具現化に向けた指標

①職員評価

- ・「学習指導の充実」が、95%から100%になった。

②生徒評価

- ・「授業は分かりやすく、意欲的に学習している」が、97.7%から97.1%になった。
- ・「家庭で宿題や自主学習に取り組んでいる」が、94.8%から95.3%になった。

③保護者評価

- ・「幡羅中では、分かりやすく生徒の学力を高める授業が行われている」が、87.3%から92.2%になった。
- ・「子供は、家庭で宿題や自主学習に取り組んでいる」が、77.8%から92.2%になった。

4 次年度に向けての展望

今年度の生徒による学校評価では、職員・生徒・保護者ともに、おおむね良好な評価結果であった。特に「宿題・家庭学習」において生徒評価が91.6%(H28)→95.3%に、保護者評価が79%(H28)→92.2%に伸びている。今後も学力向上を目指し取り組む。

一方、「教育相談・生徒理解」において、生徒評価96.2%、保護者評価90.6%となっている。生徒理解に向けた方策に重点的に取り組む。